

サーチライト With Pastor Jon 創世記 1 章 パート 2

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4 : 7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

ニュートンはバカにされていました。

その時代の人たちが、彼が信じていた“神が 6 日で天と地を創造した”ということを理解できなかったからです。

ニュートンは創世記 1 章に書かれている話を信じ支持していましたが、周囲の人たちは皆、このシンプルな考えをバカにしていました。

ある日、アイザック・ニュートンは太陽系の模型を作り、研究仲間と科学者である友人たちを招きました。

それは居間全体を占領するほどのとても詳細なもので、家にやって来た友人たちは、精巧にできた模型を見て大変驚き、

「おい！ アイザック！ どこで手に入れたんだ？」

〈どこからも〉

「じゃあ、おまえが作ったのか？ すごいヤツだな！」

〈僕が作ったんじゃない〉

「ちょっと待って。どこかで買ったのでもなく、おまえが作ったのでもないとしたら…誰かに貰ったのか？」

〈いいや〉

「じゃあ、これは一体どこからやって来たんだ？」

〈どこからも〉

「どこからもって、どういう意味だ？」

〈ただそこに現れたのさ。買ったのでもなく、自分で作ったのでもなく、誰かが置いたのでもなくて、

ただそこに現れたんだ。)

「何だって!?!」

その時、彼らは突然、アイザックの意味することを理解したのです。

その時代の科学者たちは、太陽系の模型が突然現れたという考えを、論理的にも知的にも受け入れることはできませんでした。それは不可能だと。

しかしながらどういうわけか、ある件については、すなわち、とてつもなく広大な宇宙が突然出現した、ということについては受け入れることができたのです。

それは、非論理的で不可能なことです。

聖書にも書いてあります。

愚か者は心の中で、「神はいない」と言っている。(詩篇 14:1)

人間は真理をはばむ (ローマ 1:18)

その根底の、根底の根底にあるのは、人間が神に対して責任を負いたくないということ。

創世記 1 章は、疑う余地がないほどに真実です。

創世記 1 章に書かれている創造にまつわる話は、全て真実で事実なのです。

論点は一人の人物、イエス・キリスト。イエシュア・メシア。メシアであるイエス。

イエスは、「わたしは神である。肉体を持ち人間の姿をした神である。」と宣言しました。

そのイエスが創世記の創造物語を承認し、自身の刻印を押したのです。

イエスが、アダムとエバを実在した最初の二人の人間として紹介し、文脈の中でエデンの園でのアダムとエバについて創造物語を語りました。

私が大学で、学生たちと話す時に度々行うことであり、教授たちと話す時に時々行うことですが、核心はこれです。

私は学生や教授たちに持ちかけます。

もしイエスが神なら、イエスは知っているはずですよ。彼はそこにいたのだから。

だから、もしイエスが神で、そのイエスがアダムとエバは実在したと言うのなら、彼らは実在したのです。

「それはそうだ。でもジョン、あなたはイエスが神であることを前提にしている。」

その通り！ それこそが唯一の核心なのです。

科学について、徹底的にとことん話すことも、知的に議論を戦わせることも、仕方ないと諦めて仲間たちと冗談を言い合うことも、あらゆる事実や情報やデータ、その他色々を投げかけることもできます。

それでもやはり、本質を突くのはただ一つ、イエス。

だからいつも、話の論点をイエスに戻しましょう。

イエスが、アダムとエバは実在した、創造物語はそっくりそのまま文字通りに受け取るべきだ、と言ったのです。

「では、ミスター教授、論点は、イエスは言われている通りの、あなたが言う通りの人なのか、ということですね？ 私には、彼がそういう人だとは思えません。」

そこで言うのです。

「イエスが『“父”と“わたし”は一つだ』と宣言しました。」

イエスのこの宣言を聞いた、当時の宗教家たちは、これが“イエスは神である”ことを意味していると分かったので激怒して石を拾い、彼に向かって投げようとしてしました。

いいですか？ 当時の人々は、イエスが宣言したことの意味が分かっていたのですよ。

しかし彼らは「証拠を見せなさい。」「あなたの言うことが本当だというしるしを見せなさい。」と言いました。

イエスは「しるしを一つ与えよう。一つだけ。」

「この体を壊しなさい。わたしは 3 日後によみがえります。それがしるしです。」

言い換えれば、しるしを理解するという扉は、私たちの信仰と同じで、イエスの復活を核心とするなら大きく開くのです。

イエスは言いました。「この体を壊しなさい。わたしは 3 日後によみがえります。」

そして？ 彼はよみがえりました。

疑い深い人たちや教授たちは「どうして（よみがえったと）分かるんだ？」と言うでしょう。

そうなるそこちのもの。復活についての色々な証拠を説明します。

これについては今日は時間がないので話しませんが、私の過去のテープを聞くか、フランク・モリソンの本、“Who Moved The Stone?” を読んでみて下さい。

ともかく、全ての科学的な論理による議論を止めて、究極の問題、唯一の論点、“イエス・キリストは誰であるか、イエス自身が言っている通りなのか”に話を戻さなければなりません。

イエスは本当にその通りなのです。イエスは死からの復活によってそれを証明しました。

だからパウロは言うのです。

キリストが復活しなかったのなら、あなたがたの信仰はむなしく (I コリント 15:17 新共同訳)

何が真実であるかを誰が知っているのでしょうか？

これらの究極の疑問に誰が最終的に答えられるのでしょうか？

もしキリストがよみがえらなかつたら、本当にイエスが言った通りになるのか、彼が言った通りの人なのかを、つまりイエスは肉体を持った神であるということを、私たちは皆知らないで行き詰っていたでしょう。

しかしイエスが、自分が言った通りによみがえったのなら疑問は解決しますね。

いいですか？ 議論する時はいつでも、イエス・キリストへと話を戻すことをし続けましょう。それが鍵です。

そのイエスがアダムとエバについてそのままを語っているので、この物語は書かれている通りなのだと受け取ることができるのです。

さて…第 1 節…

初めに、神が天と地を創造した。(創世記 1:1)

地は茫漠として何もなかった。(創世記 1:2)

興味深いですね。これはヘブル語では“トーフー ヴァ・ボーフー”

「それが何だ？」と言いたいでしょうが聞いて下さい。これは、大切なフレーズです。

初めに、神が天と地を創造した。(創世記 1:1)

それが突如、**地は茫漠として何もなかった。**トーフー ヴァ・ボーフー **(創世記 1:2)**

イザヤ書 45:18 を書き留めて後で確認してください。

天を創造した方、すなわち神、地を形作り、これを仕上げた方、すなわちこれを堅く立てた方、これを**茫漠としたものに創造せず**（イザヤ書 45:18）

天と地を創られた方、神は、これを「茫漠としたものに創造せず」
これがまさにヘブル語のフレーズでは“トーフー ヴァ・ボーフー”
そこで私は思いました。

イザヤ書 45:18 で「神はこれを茫漠としたものに創造せず」と言いながら、創世記 1:2 では「地は茫漠として何もなかった。トーフー ヴァ・ボーフー」と言う。

どういうことなのか。私の理解はこうです。

神が天と地を創造されたが、それから地球は崩壊した。

地球は茫漠として全てがなくなった。

それはこの時、イザヤ書 14 章とエゼキエル書 28 章に書かれていることが起きたためだと考えられます。

御使いのかしらルシファーが、天で神への反逆を企てたために、天から追放されて地に落ちました。

彼は神に逆らう企てに賛同した 1/3 の御使いと共に、天から追放されてこの地球に来た。

ルシファーは“この世の君”と呼ばれます。

そのため地球は膨大な影響を受け、突然に、ある意味、地獄と化しました。

初めに、神が天と地を創造した。（創世記 1:1）

地球は創られたのに突然崩壊し、茫漠として全てがなくなったのです。

これは私の個人的な考えで、固く信じていることですが、反対意見もあるでしょう。

誰でも間違える権利を持っていますし。

でも私が本当に信じているのは、これが多くのことを説明しているということ。

初め、神は地球をそのようには創られませんでした。

ところが、そうなってしまった。2 節に書かれているように。

その原因として非常に可能性が高いのは、ルシファーが天から追放されてサタン、悪魔となり、“この世の神”と呼ばれるこの地球に来たことです。

それによってこの世は、神と反逆者サタンの戦いの場、戦場となりました。

そこで神はどうしたか？

地は茫漠として何もなかった。やみが大水の上にあり、神の霊が水の上を動いていた。（創世記 1:2）

しかし**神の霊が**、これ良いですねー。

敵によって何かが乱されると、神はいつも介入されます。素晴らしいですね。

地球は混沌としていました。茫漠として何も無い。壊滅し捨てられたのです。

その時神は動き出され、

神は仰せられた。「光があれ。」（創世記 1:3） ヘブル語の直訳は「光ある。Light be.」

すると光があった。（創世記 1:3）

ここで起こっていることは、地球の再創造です。

「ジョン、つまり最初に創られたオリジナルの地球があって、それが茫漠として全てなくなり、この先は再創造の話？ だとしたら最初の地球は何で構成されていたの？」

さあ…分かりません。推測することはできるでしょうが、ご覧の通り神は何も説明していません。だか

ら私もそのままにしておきます。

さて私たちは今、再創造を目にしている、それは神が宣言するところから始まります。

「光があれ。」すると光があった。(創世記 1:3)

神は光を見て良しとされた。神は光とやみとを区別された。(創世記 1:4)

神は光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。

夕があり、朝があった。第一日。(創世記 1:5)

ところで、言葉の順序に気付きましたか？

夕があり、朝があった。第一日。(創世記 1:5)

夕があり、朝があった。第二日。(創世記 1:8)

夕があり、朝があった。第三日。(創世記 1:13)

今でもユダヤ人の日にちや時の数え方は、一日は夕方から始まり、暗闇から光へ、闇から朝へと進んで、次の夕方までだと考えています。

良い考え方ですね。

私たちの一日は朝から始まりますね。朝から夕へと移ります。

「朝だ！ 頑張ろう！」と始まって暗闇で終わります。疲れて、ウンザリして。

私はヘブルの考え方の方が好きです。こっちの方がずっと良い。

ユダヤ人の一日は今日でも同じで、夕方の暗闇で始まって、段々と明るくなり光が増してくる。暗闇から光へと移り変わるのです。とても良い。

夕があり、朝があった。第一日。(創世記 1:5)

ここで！ しっかり書き留めて下さい。

はじめのこれら 5 つの節の中に、私は答えを見つけました。

Ⅱコリント 5 章でパウロが言ったことが、ここでやっと理解できたのです。

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。

古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。(Ⅱコリント 5:17)

「そうだ！ 創世記 1:1 - 5 は、ここを表しているんだ！」

創世記 1:1 - 5 は、初めに神が天と地を創造し、それから地は茫漠として全てがなくなり崩壊した。

そして神の霊が水の上を動き始め、神が「光があれ」と言うと光があり、光と闇とを区別した。神は光を見て良しとした。

Ⅱコリント 5 章はあなたの物語。あなたが新しく造られた者になる物語です。

私たちは神のかたちに似せて造られました。

そして、どうなりましたか？ 私たちは失敗し、茫漠として何も無い。

罪はあなたを徹底的に破壊します。

あなたは罪の中に死んでいました。罪のために破壊されていたのです。

神は本来、私たちをご自分の似姿として造ったのに、私たちは自分自身の罪と悪によって失敗し、皆暗闇の中にいました。

しかし、神の霊が動くのです。

私たちが神を捜し求めたものではありません。

誰一人として、神を捜し求めた者はありませんでした。聖書に書いてあります。

ただ神が、優しさと恵みと憐みによってあなたに、私に近づき、みこころに従って神の霊が水の上を動くのです。

聖書を学んできた皆さんならもうご存知の通り、“水”は“みことば”を象徴しますね。なので、以前お話した通り、あなたはみことばによって清められています。

キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって (エペソ 5:26)

分かりますか？ 聖書では、水はみことばを表します。だからよく見て下さい。

神の霊が動く。どのように？ 水の上を…

あなたがバイブルスタディーを聞いている時やクリスチャン番組のテレビを見たり、ラジオを聞いたりしている時、友達と話している時などなど、どんな時でも、あなたが誰かとみことばを分かち合い始めたら、神の霊が動き出すのです。

あなたは失敗して、心の中は空っぽになり、虚しくて、人生は闇でした。

ところが突然、神の霊が水の上を動き始める。

そして神は言います。「光があれ。」するとあなたは「分かった！ 見えた！」

光は輝き続け、あなたは生まれ変わります。

そうして神が闇から光を離すのです。それで良いことが起こり始めます。

これは物理的な創造だけでなく、神の最高の恵みと憐みによって、あなたと私の人生に起こるイメージであり完璧なものです。素晴らしい。

神は仰せられた。

「大空が水の真ただ中であれ。水と水との間に区別があれ。」(創世記 1:6)

神は大空を造り、大空の下の水と、大空の上の水とを区別された。そのようになった。(創世記 1:7)

神は大空を天と名づけられた。(創世記 1:8)

これは大文字ではありません。

KJVは“**Heaven**” (天) と表していますが、神はただ“**heaven**” (天) と名づけました。

聖書で“**天**”には、私たちの上を覆っている、星が輝く空間と、私たちが死後に行くこと定められ、私たちが待っている場所の両方の意味があります。

神はこの大空を天と名づけました。空間と言っても良いでしょう。面白いですね。

夕があり、朝があった。第二日。(創世記 1:8)

ここでちょっと考えてみて下さい。私はとても興味をそそられたのですが。

神が地球を再創造した時、地球はここにありましたね？ そうですよね？

そして大空の天、空間があって、その空間の上に水があります。

空間が水と水とを分けている、と神がはっきりと言っていますから。

「大空が水の真ただ中であれ。水と水との間に区別があれ。」(創世記 1:6)

なので、地上に水があり、空があって、その空、空間を取り囲んでいる水がある。

つまり、地球は水の幕で覆われていたので、空間の周りは巨大な温室になっていたのです。

それは、全世界が均一の気温であるということを意味します。

この水の幕は、**SP (紫外線カット) 40**、強力な鼻カバーや日焼け止めになっていて、紫外線の影響を

受けることはありません。

全世界に均一の温度が提供され、地球全体が巨大なマウイ島のようなはずでした。

ところが実際に起きたのは、私が思うに、水の幕が崩壊し、大雨となって“ノアの洪水”が起こり、地球が水浸しになりました。

その瞬間、全てが根本から変えられて、人はもうそれまでのように長く生きることはなくなりました。

近いうちに創世記 5 章でお話しますが、寿命は短くなり、大気に関する事、環境的、生態的なこと全てに、瞬時に激変が起こったのです。

かつては全世界を熱帯に保っていた水の幕が崩壊したからです。

それが事実であれば、熱帯植物の残留物や化石が南極や北極圏で見つかるはずですが、何と、実際にそれらは発見されています。

科学も、ある時期、この地域を含めて地球全体が熱帯だったことを認めています。

これが、神から与えられ、私が信じている、とてもシンプルで素晴らしい解説です。

水の幕があったのに、人々の罪のために洪水が起こりました。

これについては、創世記 8 章、9 章、10 章でお話しします。10 分間で……

水の幕が崩壊して、それが洪水となったのです。

つづく

私が苦闘しているのは、この人たちが愛のうちに結び合わされて心に励ましを受け、さらに、理解することで豊かな全き確信に達し、神の奥義であるキリストを知るようになるためです。

このキリストのうちに、知恵と知識の宝がすべて隠されています。

私がこう言うのは、まことしやかな議論によって、だれもあなたがたを惑わすことのないようにするためです。

(コロサイ 2:2-4 新改訳 2017)